

宅幼老所の運営

<p>健康づくり、介護予防、子育て支援等、高齢者や子育て中の親の継続的な交流・学習・相談を行うため、空き教室、空き店舗、民家等を活用して、地域での支え合い活動の拠点となるたまり場を地域住民が運営する活動 介護保険の通所（デイ）サービスに相当</p>	<p>[県内実施率] 約 10 % (約 38 / 382 小学校区内で実施)</p>
--	---

事例 7

ひゃくえん喫茶みのる [大垣市]

<p>大垣市社協の支援のもと、青野町自治会が中心となって組織化された青野ふるさと福祉村が、平成 14 年から取り組んだふれあいサロンを常設化し、主に地域の高齢者の交流・たまり場、健康づくりの活動拠点として設置・運営</p>																							
<p>運営主体</p>	<p>青野ふるさと福祉村 代表：桐山淳 ひゃくえん喫茶みのる店主：中原静子</p>																						
<p>住所</p>	<p>大垣市青野町 224 番地</p>																						
<p>設置・活動開始</p>	<p>平成 18 年 10 月</p>																						
<p>活動内容等</p>	<p>施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市社協が介護保険施設「福祉の館デイサービス青野」のため賃借した空き民家のうち、空きスペース（約 40 畳）を活用して設置 ・青野ふるさと福祉村は、光熱水費のみ負担 <p>活動（開設）日：毎週、火、木、土の午前中 利用料：100 円/1 回 飲み物代の実費 運営スタッフ：自治会で無償ボランティアを募集。現在、約 80 人が登録。 常時 4 ～ 5 人が持ち回りで飲み物を出すなど利用者をお世話(店員ボランティア)</p>																						
<p>利用者</p>	<p>大垣市青野町周辺住民</p>																						
<p>H20 年度実績</p>	<p>利用者：約 3,600 人 1 回当たり平均 25 人</p>																						
<p>H21 年度 収支予算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用料</td> <td>360,000 円 ・ 100 円 × 25 人 / 1 回 × 12 回 / 月 × 12 月</td> <td>食材費</td> <td>216,000 円 ・ 18,000 円 / 月 × 12 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>光熱水費</td> <td>12,000 円 ・ 1,000 円 / 月 × 12 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他 消耗品</td> <td>132,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>360,000 円</td> <td>計</td> <td>360,000 円</td> </tr> </tbody> </table>			収入		支出		利用料	360,000 円 ・ 100 円 × 25 人 / 1 回 × 12 回 / 月 × 12 月	食材費	216,000 円 ・ 18,000 円 / 月 × 12 月			光熱水費	12,000 円 ・ 1,000 円 / 月 × 12 月			その他 消耗品	132,000 円	計	360,000 円	計	360,000 円
収入		支出																					
利用料	360,000 円 ・ 100 円 × 25 人 / 1 回 × 12 回 / 月 × 12 月	食材費	216,000 円 ・ 18,000 円 / 月 × 12 月																				
		光熱水費	12,000 円 ・ 1,000 円 / 月 × 12 月																				
		その他 消耗品	132,000 円																				
計	360,000 円	計	360,000 円																				
<p>設置の経緯</p>	<p>平成 14 年以降、青野町自治会において、市社協のコーディネートのもと、ふれあいサロン活動を開催（毎月 1 回第一日曜日） 平成 17 年 5 月、市社協のコーディネートのもと、自治会が中心となって地域での支え合い活動団体「青野ふるさと福祉村」を組織化</p>																						

	<p>平成 18 年 10 月、青野ふるさと福祉村では、サロン活動が月 1 回では少ない、との声を受け、市社協の支援のもと、地域の高齢者などが気軽に集える場所づくりのため、常設のサロンとして「ひゃくえん喫茶みのる」を開設。 「ふるさと福祉村活性化事業費補助金（県補）」を活用して備品などを整備</p> <p>[ポイント] 「特定のリーダー・活動員やボランティア団体による、特定の要支援者を対象とした活動ではなく、地域住民全員による支え・支えられる地域社会の実現を目指したことが、活動が定着し発展した秘訣と考えている。運営スタッフ（ボランティア）は青野町全員を対象に公募され、運営スタッフに登録した人も、スタッフではない日は利用者として参加されている。」（大垣市社協職員）</p>
その他	<p>併設又は近隣のデイサービスセンター利用者からの利用もあり、制度サービス（介護保険）に加え、地域での支え合いによる制度外サービスが切れ目なく地域の要支援者に提供</p> <p>利用者からの差し入れも常にあり、喫茶活動以外では、手芸、絵画など利用者の趣味の作品展示場や、三世代交流事業、要援護者支援マップづくりの場としても活用されており、地域の交流拠点、ひいては地域コミュニティ再生のシンボルともなりつつある。</p> <p>この活動をモデルに、取り組みが近隣地区へも広がりつつある。平成 21 年 4 月、大垣市昼飯町にて「ひるい百円喫茶」が開設</p>
問い合わせ先	<p>大垣市社会福祉協議会 TEL0584-78-8181 FAX0584-81-6200</p>

H21 年 3 月 31 日現在

建物外観



喫茶みのる

デイサービスセンター

喫茶風景



配膳風景・店員ボランティア



血圧計を設置



趣味の展示

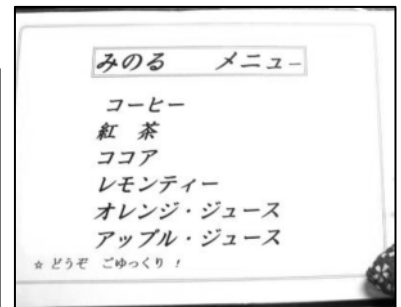


コーヒーと本日の茶菓子（100 円）



利用料 100 円入れ

メニュー



併設するデイサービスセンターからの利用
デイサービスから喫茶みのるへ移動中